

平成22年度県税歳入補正予算について

補正予算見積額 + 144億6千万円(+ 12.0%)

(当初 1,202億円 補正後 1,346億6千万円)

- ・対前年決算比 22億9千万円 (1.7%)
- ・平成21年度の景気回復を背景に法人二税で大幅な増収となる。

《主な増額補正税目》

法人二税 + 110億6,810万円(+ 49.9%)

(当初 221億8,100万円 補正後 332億4,910万円)

法人県民税 + 29億8,850万円(+ 54.9%)

(当初 54億4,610万円 補正後 84億3,460万円)

法人事業税 + 80億7,960万円(+ 48.3%)

(当初 167億3,490万円 補正後 248億1,450万円)

(要因) 平成21年度は景気が回復基調にあったことと、県内一部大手法人の急速な企業収益の回復等により、当初予算を大幅に上回る。

個人県民税 + 24億5,730万円(+ 5.5%)

(当初 444億6,240万円 補正後 469億1,970万円)

所得割・均等割 + 22億7,390万円(+ 5.2%)

(当初 439億4,150万円 補正後 462億1,540万円)

配当割 + 1億6,250万円(+ 46.7%)

(当初 3億4,790万円 補正後 5億1,040万円)

株式等譲渡所得割 + 2,090万円(+ 12.1%)

(当初 1億7,300万円 補正後 1億9,390万円)

(要因) 厳しい雇用状況の中、給与所得の大幅な減少を見積もったところ、実際の減少幅が小さかったことと、徴収率が当初予算で見込んでいた徴収率を上回ると見込まれるため。

軽油引取税 + 11億9,270万円(+ 11.5%)

(当初 103億6,910万円 補正後 115億6,180万円)

(要因) 政府の経済対策の効果等により、物流が一定活発になったため、当初予想していたより軽油需要が伸びたことによる。

《主な減額補正税目》

県たばこ税 3億620万円(10.4%)

(当初 29億3,580万円 補正後 26億2,960万円)

(要因) 税率は上げられたものの、近年の健康志向による喫煙者の減少に加えて値上がりによる需要の低下が、当初見込みより大きくなるため。

自動車税 1億8,370万円(1.0%)

(当初 189億4,290万円 補正後 187億5,920万円)

(要因) 若者の車離れ、ドライバーの高齢化により、自動車の保有台数は近年逡減傾向であるが、減少幅が当初見込みよりやや大きくなったため。

ゴルフ場利用税 1億1,830万円(8.3%)

(当初 14億2,100万円 補正後 13億270万円)

(要因) 夏の猛暑および冬期は積雪量が例年より多かったことから、利用人員が減少したため。

自動車取得税 1億190万円(4.4%)

(当初 23億2,750万円 補正後 22億2,560万円)

(要因) エコカー補助金終了後の新車販売台数の落ち込みにより、課税台数が当初見込みを下回るため。